

平成28年度

1・2級土木施工管理技士 受験準備講習会案内書

主催 (一社)静岡県土木施工管理技士会
協賛 (一社)静岡県建設業協会

平成28年度1・2級土木施工管理技術検定試験を受験される方々の合格率アップをめざし、下記のとおり受験準備(CPDS学習プログラム認定)講習会を実施いたします。

1. 開催日及び会場

	月 日	会 場
1 級	5月31日(火)・6月1日(水)・2日(木)	静岡県建設業会館(静岡市) 4F会議室
2 級	8月24日(水)・25日(木)・26日(金)	〃 (静岡市)

2. 講習内容

1・2級共(都合により若干変更する場合があります。)

	9:30~12:30	12:30~13:15	13:15~16:15
第1日	安 全 管 理	休 憩	法 規
第2日	土 木 一 般 (基礎・コンクリート)		工 程 管 理 ・ 施 工 計 画
第3日	土 木 一 般 (土 工)		品 質 管 理

3. 募集人員

1・2級とも60名(定員になり次第締切ります)

4. 受講料

1・2級とも 会員(正会員又は賛助会員所属の方) 20,000円
非会員 25,000円

5. テキスト

6. の(1)、(2)のテキストは受講料に含んでいます。

6. テキストの内容

(1) 講習会用資料 (平成28年版)	} 受講料に含む。	} テキストのみ購入の場合 (1)(2)セット 8,100円
(2) 試験問題解説集録版 (2016年版)		
(3) 土木一般 (改訂第11版)	} 指定教材ですので、必ず購入して 下さい。	} (3)(4)(5)セット (1・2級共通) 8,424円
(4) 施工管理 (改訂第12版)		
(5) 法規 (改訂第13版)		

7. 申込方法等

- (1) 受講申込み 1級 4月4日(月)～5月9日(月) 2級 6月6日(月)～7月11日(月)
受付期間

申込み期限は厳守願います。(定員になり次第締切ります。)

- (2) 方法及び 下記(イ)(ロ)(ハ)いずれかの方法でお申込み下さい。
申込先 受付期間終了後、受講票・テキストを勤務先に送付いたします。

尚、「申込書」は、技士会事務局及び各地区の建設業協会等にもあります。

また、技士会のホームページからも印刷出来ますのでご利用下さい。

ホームページアドレス <http://www.sizu-dobokugisi.or.jp>

(一社)静岡県土木施工管理技士会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9 TEL (054) 255-0238

FAX (054) 255-0239

受講料振込先 静岡銀行呉服町支店 普通No.1041929

口座名 シャ)シズオカケンドボクセコウカンリギシカイ

※振込手数料は、申込者負担でお願いします。

(イ) 上記宛に申込書を郵送 (FAX可)、受講料・テキスト代は1週間以内に銀行振込
して下さい。

(ロ) 上記宛に申込書・受講料・テキスト代を持参して下さい。

(ハ) 下記地区建設業協会へ申込書・受講料・テキスト代を持参して下さい。

下田	下田市東本郷2丁目7-1	0558 (22) 3174
三島	三島市玉川250-2	055 (975) 0332
沼津	沼津市本田町9-33	055 (943) 6726
富士	富士市本市場町770	0545 (61) 2838
清水	静岡市清水区庵原町149-6	054 (364) 5636
静岡	静岡市駿河区八幡2-4-16 伊伝八幡ビル4階	054 (287) 6288
島田	島田市中心町12-10	0547 (37) 7105
袋井	袋井市三門町11-12	0538 (42) 4338
浜松	浜松市中区山手町15-19	053 (454) 8288
天竜	浜松市天竜区二俣町鹿島491-5	053 (926) 1562

8. 注意事項

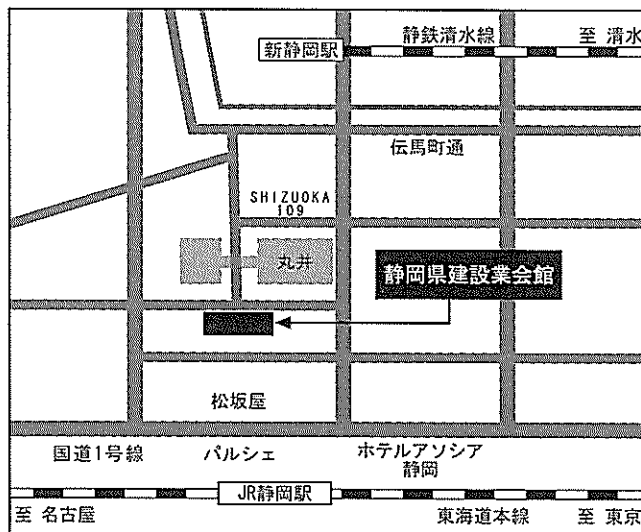
- (1) 講習会申込者は「申込書」上段太枠内に必要事項を記入して下さい。
- (2) 受講料については、受講者本人が(一社)静岡県土木施工管理技士会の正会員か勤務先が賛助会員へ加入している場合、会員受講料(20,000円)となります。
- (3) 講習会には、受講票・テキスト・筆記用具を必ず持参して下さい。
- (4) 申込後の受講料・テキスト代は理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- (5) 当日の受付は9時より開始いたします。
- (6) 会場は全館禁煙です。

会場略図

静岡県建設業会館 静岡市葵区御幸町9-9 TEL <054> 255-0238

※ 会場には、駐車スペースがありませんので、
電車・バスなど公共機関をご利用下さい。

(静岡駅から徒歩約5分)



国家試験申込手続

この準備講習会は、受験に備える講習会です。国家試験の申込みは必ず各自で手続を行なって下さい。((一財)全国建設研修センター ホームページ参照)

※ 『受験の手引』の販売は、平成28年3月14日(月)からです。

国家試験申込受付期間

1級 平成28年4月1日(金)～4月15日(金)
2級 平成28年4月14日(木)～4月28日(木)

試験日

1級 平成28年7月3日(日) 2級 平成28年10月23日(日)

参 考 資 料

受験資格

平成28年度 1 級・2 級土木施工管理技術検定試験について

(1) 1 級土木施工管理技術検定・学科試験 次のイ、ロ、ハ、ニのいずれかに該当する者

区分	学 歴 又 は 資 格		土木施工に関する実務経験年数	
			指 定 学 科	指 定 学 科 以 外
イ	大学卒業 専門学校を卒業したもののうち「高度専門士」と称する者		卒業後 3 年以上	卒業後 4 年 6 ヶ月以上
	短期大学・高等専門学校卒業 専門学校を卒業したもののうち「専門士」と称する者		卒業後 5 年以上	卒業後 7 年 6 ヶ月以上
	高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）		卒業後 10 年以上	卒業後 11 年 6 ヶ月以上
	その他の者		15 年以上	
ロ	2 級合格後 3 年以上の者		合格後 1 年以上の指導監督の実務経験及び専任の監理技術者による指導を受けた実務経験 2 年以上を含む 3 年以上	
	2 級合格後 5 年以上の者		合格後 5 年以上	
	2 級合格後 5 年未満の者	高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）	卒業後 9 年以上	卒業後 10 年 6 ヶ月以上
		その他の者	14 年以上	
ハ	高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）		卒業後 8 年以上の実務経験（その実務経験に指導監督の実務経験 1 年以上を含み、かつ、5 年以上の実務経験の後専任の監理技術者による指導を受けた実務経験 2 年以上を含む）	/
ニ	専任が 1 年以上ある者の実務経験者	2 級合格者	合格後 3 年以上の者	合格後 1 年以上の専任の主任技術者実務経験を含む 3 年以上
			合格後 3 年未満の者	短期大学・高等専門学校卒業 専門学校を卒業したもののうち「専門士」と称する者
		高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）		卒業後 7 年以上 卒業後 8 年 6 ヶ月以上
		その他の者		12 年以上
	その他の者	高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）	卒業後 8 年以上 卒業後 9 年 6 ヶ月以上	
その他の者	13 年以上			

(注 1) 高等学校の指定学科以外を卒業した者には、高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による試験、旧大学入学試験検定規則（昭和26年文部省令第13号）による検定、旧専門学校入学検定規則（大正13年文部省令第22号）による検定又は旧高等学校高等科入学資格試験規程（大正8年文部省令第9号）による試験に合格した者を含む。（以下同じ）

(注 2) 上記区分イ、ロ、ハ、ニの実務経験年数のうち、1 年以上の指導監督の実務経験年数を必要とする。

(注 3) 実務経験年数は、学科試験日の前日までで計算する。

(注 4) 2 級試験合格者の実務経験年数は、その試験の合格発表日より計算する。

(2) 2 級土木施工管理技術検定・学科試験（種別：土木・鋼構造物塗装・葉波注入） 次のイ、ロのいずれかに該当する者

イ 学科・実地試験

学 歴	土木施工に関する実務経験年数	
	指 定 学 科	指 定 学 科 以 外
大学卒業 専門学校を卒業したもののうち「高度専門士」と称する者	卒業後 1 年以上	卒業後 1 年 6 ヶ月以上
短期大学・高等専門学校卒業 専門学校を卒業したもののうち「専門士」と称する者	卒業後 2 年以上	卒業後 3 年以上
高等学校卒業 専門学校卒業（「高度専門士」「専門士」を除く）	卒業後 3 年以上	卒業後 4 年 6 ヶ月以上
その他の者	8 年以上	

(注 1) 上記の実務経験年数については、当該種別の実務経験年数である。

(注 2) 実務経験年数は、学科試験日の前日までで計算する。

ロ 学科試験のみ 平成28年度中における年齢が17歳以上の者

※詳しくは、(一財)全国建設研修センターのホームページ又は同センター「土木試験課」に電話 (042-300-6860) で確認して下さい。

※類似の講習会がたくさんありますのでご注意ください。